

研究実施のお知らせ

研究課題名：維持透析患者の急性期脳出血の出血量とその関連因子解明のための後方視的観察研究
研究期間：仙台市立病院倫理審査委員会承認日～令和5年8月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2007年以降に脳出血を発症し当院にて治療を受けた患者さま（透析患者さまを含みます）

【研究の目的と意義】

脳卒中は高齢化社会の日本において決してまれな病気ではありません。脳血管が破れてひとたび発症すれば麻痺や意識障害を含めて著しく生活力の低下をきたす恐れがあるため、急性期病院での早期評価と早期治療がその後のQOLを大きく左右する病気です。また、透析患者さんは一般の方々と比べると血管がもろいため脳卒中の危険が高いとされています。当院はこれまでに仙台市内で急性期脳卒中を発症した維持透析患者の受け入れを優先して行ってきました。仙台市内で発症した維持透析患者の脳卒中の実態を把握するに当たっては当院の非透析患者と透析患者の診療データを照らし合わせることが非常に有益です。この研究では維持透析患者と非透析患者の脳出血発症時点の診療データを解析することにより脳出血量の違いとその背景のリスク評価を行うことを目的としています。

【研究の方法】

単一施設の後向き観察研究です。過去に記載された患者さまの診療録から必要な項目を抽出し、その背景要因を解析します。今後患者さまのご自宅を訪問したり質問票を送付したりといった介入は致しません。

【研究に用いる試料・情報の種類】

過去に診療録に記録された診療情報のみを、研究に使用させていただきます。使用に際しては倫理指針等により個人情報に厳重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形でを行います。

診療情報とは年齢、性別、既往歴、内服歴、入院日、治療、死亡日時などを指します。

【研究の実施体制】

この研究は、市立病院内のみで実施される後方視的観察研究として実施されます。

研究代表者：仙台市立病院 内科 山本多恵

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を

希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 内科

科部長 山本 多恵 （当院の研究責任者）

医長 竹内 陽一

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）